

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2011.10.10
No.1035

発行責任者 柳進 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

11・4 全県
労働者決起集会

18:30~ 名古屋・栄ひろば

秋闘の前進へ 自らの要求 職場で語ろう

誰もが普通にくらせる賃金を！

憲法で保障する健康で文化的な生活を支える賃金。愛労連などと一緒にとりくんだ最低生計調査では、25歳独身男性で月額22万円以上、30代の夫婦世帯では、32万円以上が必要という結果がでています。やりくりしても、先の見えないくらしの実態を、今年、最低賃金生活体験をした蒲郡市職の西村悠さん(26)、豊橋市職の石野喜崇さん(29)に語っていただきました。

蒲郡市職の西村さんは、職員になって2年目ですが、自由に使えるお金は月に1万9千円。朝はバナナ、昼はカップ麺などで、食費を1日千円に節約しないと、結婚資金もためられないと苦労しています。「病気になるっても、病院にいけない」「何をやるにもお金のことを考え、ストレスになる」「もう最賃体験はこ

コンビニ弁当はゼイタク!?

石野さんご夫婦は、昨年結婚しました。昼食に500円もするコンビニ弁当はゼイタクと、弁当とお茶を持参。車も軽自動車に乗りかえるなど、節約に努めています。それでも、子どももつけないと生活に不安を感じています。

現在の賃金は、7年前の大学卒業時、内定をもらっていた銀行の初任給23万4千円をいまだに超えていないそうです。「同世代の友人と話していると、月に30万円ももらっている人も多く、公務員が高給とりといわれるのは疑問に思う」と。



豊橋市職の石野喜崇さん



蒲郡市職の西村悠さん

また、最賃(今年10月施行で時給750円)では、「20代後半になり、冠婚葬祭が増えても、お祝いも出せない」「飲み会にも行けなかつ

た」と、苦しかった最賃体験を語り、「公務労働者として、地域に貢献できる仕事に誇りを感じています。せめて安心して働ける賃金が欲しい」と切実な願いを語ります。

さらに、石野さんは、同じ職場で働く非正規労働者が「正規と同じような仕事をしながら、賃金格差があることに矛盾を感じる。誰もが、普通にくらせる賃金を保障することが大切」と話してくれました。

マイナス勧告するな

県人事委員会へ申し入れ

愛知公務共闘

愛知公務共闘と愛労連は9月27日、愛知県人事委員会に対して、公務・民間ともに賃下げ「悪循環」となる3年連続の「マイナス勧告」を行わないよう強く求め、自治体や公務員関係職場の最低賃金を千円以上へ・初任給の引き上げ・55才超の職員への給与引き下げや現給保障を廃止しない



県人事院に申し入れる伊藤委員長

倉田過労死裁判勝利へ

第8回裁判は、いよいよ判決です。法廷外をとりまく傍聴参加を

- ・とき 11月25日(金) 13:20~
 - ・ところ 名古屋高裁 大法廷
- 裁判終了後、報告集会を行います。



廃棄されたものを軽トラへ

台風被害(三重)ボランティアへ 自治労連東海北信ブロックから40人

9月3日記伊半島に大きな被害をもたらした台風12号は、三重県、和歌山県、奈良県などを中心にあわせて100人を超えて死者・行方不明者の痛ましい事態となりました。さらには、追いつちをかけるように、台風15号が21日に襲いかかりました。自治労連東海北信ブロックは、いち早く三重県支援のボランティアを9月23日、25日の連休に呼びかけ、愛知県本部から4名(全体で40人)が参加しました。

ボランティア先の三重県紀宝町の熊野川沿いは、氾濫により高台にある民家も次々に水没し、地域によっては2階屋根が水没するほどの大洪水となりました。ボランティアに入ったお宅のご主人は、「逃げるのが精一杯だった」「逃げ遅れた人は2階の屋根にあがって救出を待った」と、当時の様子を不安げに語ってくれました。

ボランティア作業では、個人宅の水没した家電や衣類、畳などあらゆる物が廃棄されています。各家から運び出した品物を、みえ労連と全労連から提供された軽トラに積み込み、ゴミ集積場所の町営グラウンドまで運びました。町中は、清掃業者の大型トラックやパッカー車などが走り回っていました。

労働者・労働組合って?

基本を学んで元気いっぱい

組合役員学校

ここから始める

—自治労連あいち—

- ・とき 10/29(土) 13:30~
- 10/30(日) 正午まで
- ・ところ 「ホテル日航豊橋」

豊橋駅西口から、シャトルバスあり。(12:35 or 13:15)

すべての職員を視野に組合員拡大へ

パートの“つぶやき”にも耳をかたむけ

春日井市学校給食会労組



おいしい給食に子どもの笑顔いっぱい

春日井市学校給食会労組は、今まで構成員全員が正規職員の調理員でしたが、8月31日付で、事務パート職員のAさんが加入しました。加入のきっかけは、職場に貼ってあった組合新聞です。

以前調理パート職員組合未加入の時の給食を上げることを要求し、団体交渉で話し合った内容の記事を読んだAさんは、「組合員でも調理員でもないけれど、私の話も

一緒に問題解決しよう！と訴え

現状を聞いてみると、主査からの業務内容の引き継ぎは皆無に等しく、内容に

聞いてくれますか」と委員長に相談しました。学校給食会では、市内4つのセンター方式の調理場があり、各場ごとに事務所があります。場長と主査が市から派遣されていますが、平成22年4月から、事務業務全般を行っていた各場の主査が撤退し、その代わりに事務パート職員が各場1名、採用されました。

超えていて、とても時給860円の仕事内容ではないと、すぐに理解できました。Aさんは「パートという立場は軽視されがちだし、雇用の面でも不安です。不満を上司に訴えても、何一つ問題解決しない」と落胆していましたが、委員長は「今の業務内容を明確にして、正職員が必要だと理解してもらい、一緒に問題解決していきましょう」と訴え、組合加入にいたりしました。



真剣に学ぶ若き執行委員ら

要求と不平不満は違う

9月30日～10月1日、犬山レイクサイド入鹿に泊まりがけで、岩倉市職役員学校が開かれました。若い執行委員なども参加し、13名

2日目の学習会には、吉田さんは、「要求と不平不満」との違いは、運動があるかないかである。要求をもとに組合活動が前進する、と講演しました。

その後、県本部の望月書記長が「自治体の財政が苦しいから賃金を下げる」のではなく、「公務員の生活はどうするんだ」という視

高すぎる介護負担軽減を 介護のつどい開催

9月25日、「介護労働者のつどい」(福祉保育労働協同連、自治労連の共催)に50人が参加。全体会では、「新聞赤旗」記者の内藤真己さんが講演。内藤さんは自分自身の介護体験として、「最初のケアプランの自己負担は月43万円、その次のプランは月30

万円、最終的には月9万円の自己負担だったと紹介。その上で、来年からの介護保険改定で、要支援者のサービス外しや、新たに導入される定期巡回・随時対応型訪問介護の問題点などを指摘。介護危機の打開のために、介護保険に対する国庫負担の引き上げ、保険料・

利用料の減免制度の確立、介護報酬の大幅引き上げなどの施策が必要と訴えました。午後からは「介護労働者の医療行為」について、短時間巡回訪問介護サービス、しゃべり場の3つの分科会が行われ、職場の実態を討議・交流しました。

「言いたい劇場」小菅りや子



秋のドライブ

比べてみれば やっぱ安い

自治労連の自動車共済



準優勝 胸上げだあ

若さ さく裂

準優勝 名古屋

全国バレーボール大会

第23回自治労連全国バレーボール大会が9月29日～10月1日、京都市内で開か

れました。愛知代表として、名古屋市職労バレーボール部が出場し、平均年齢26・5歳という若さと、団結の強さで決勝進出。東京特区連と対戦。好プレーを見せたが、惜しくも敗退(16-21、17-21)。準優勝となりました。

新役員紹介

一宮市労組(9月21日)

執行委員長 平山 勝子
副執行委員長 柳 進
書記 長 渡辺 利雄
書記 長 森 清隆

西尾市職(9月23日)

執行委員長 柵木 史紀
副執行委員長 築瀬 貴央

お詫びと訂正

1034号で、紹介した清須市職労の新役員紹介ですが、書記長と副委員長の名前が入れ替わっていました。お詫びし、訂正いたします。

副執行委員長 林 美帆
書記 長 山内香菜子



次世代担う学習・交流に120人!

全労連東北陸ブロック・サマーズデー

9月23日～25日に全労連東北陸ブロック第20回サマーズデーが静岡県焼津市で行われ、これからの運動を担う青年が過去最大の120人参加。労働組合の役割を熱心に学習・交流しました。セミナーは「つながりを広げていこう」の活

第16回 あいち 機関紙・宣伝学校

10/29(土) 13:00~
10/30(日) 10:00~

労働会館